

◆企画名	<u>POP でプレゼン！関大生のワタシからアナタへ全力でお勧めする本！！</u>
日 程	<u>POP 作成講習：2016 年 12 月 1 日（木）</u> <u>POP・図書展示：2016 年 12 月 9 日（金）～2017 年 1 月 30 日（月）</u>
場 所	<u>POP 作成講習：関西大学総合図書館ワークショップエリア</u> <u>POP・図書展示：関西大学総合図書館ラーニング・commons</u>
参加者数	<u>20 名（ピア・サポータ 5 名、研修生 3 名、一般学生 4 名、TA2 名、職員 6 名）</u>
目 的	

図書館の本を紹介する POP 作成の講習を行い、広報・広告に興味を持つ学生やイベント企画をしている学生が POP 作成の目的・視点等を学ぶと共に、図書館に興味を持ってもらう機会とする。

内 容

- ①紀伊國屋書店現役書店員の方による POP 作成についての講座及びに POP 作成体験。
- ②講習会で作成した POP と図書の展示。

効 果

- ・紀伊國屋書店の書店員の方による POP 作成の目的・視点についての講演を通じて POP 作成について学ぶことができた。
- ・一般学生からのアンケート結果が良好であった。アンケート結果では、「書店員さんのレクチャーが貴重だった」「とても楽しかった」との声を頂いた。

改 善 点

- ・今回の企画は KU コアラ、関西大学図書館、紀伊國屋書店 3 者の合同企画であったため、意思の疎通がとりづらかった。また、広報の期間が短く、周知が十分でなかったことから、もっと早めに広報を開始できるようにすべきだった。
- ・講習中に不足物が多く発生したことから、事前に準備物を把握しておく必要があった。
- ・講師の方と直接顔をあわせたのが当日であったため、事前に一度でも内容について話し合ったほうがよかった。
- ・アンケートは、職員の方など学部生以外の方が回答したと分かるようにすべきだった。
- ・作成した POP と図書の展示は、図書館内ラーニング・commonsにて行ったが、貸出回数が少なく、もっと学生が手に取りやすい場所に展示すべきだった。

感 想

本企画は KU コアラにとって久しぶりの参加者募集型企画であり、同時に初めて紀伊國屋書店と合同で企画を行った。また、広報期間が短い中で一般学生の参加もあり、広報の手段や、実際の運営など改善すべき点は多々あるが、ひとまずこういった企画を無事に行うことができたことは積極的に評価できると考える。

本企画を通じて紀伊國屋書店とご縁を結ぶことができた。今後も紀伊國屋書店との合同企画などもできればよいと思う。